



八尾春雄 議員

### 9月議会で採択された 請願について

**問** 9月議会で地区計画条例と整合性のない請願が採択されたが、今後どのように対応するのか。地権者の合意はどのようにしているのか。

**山村町長** 平成24年9月26日に障がい者保護者と交わした確認書を念頭に置き対応する。県とも協議し都市計画審議会において議論していただく。その結果、了とされれば議会に協議申し上げる。地域全体への事前周知も必要と考えている。

### クリーンセンター 人身事故について

**問** 11月15日発生の事故について、直接の原因だけでなく、安全衛生体制や契約関係も含め見直しを進め事故の再発を防止してもらいたい。労働基準監督署の臨検が実施されたのは、この仕事の従事者の労働者を疑っているのではないのか。

**理事者** ケガをされた方の一日も早い回復を祈っている。シルバー人材センターとの委託契約については、見直しを行い、直接雇用による作業、民間への委託、シルバーへの委託と仕分けを行いたい。クリーンセンター職員も気を引き締め直し、民間企業の協力も得ながら日常の運営を継続する。

### 交差点信号機に「右折」を 表示するようについて

**問** 真美ヶ丘幹線と柳板大谷線、広谷秋廻り線と柳板大谷線には右折表示がなく、右折が危険な場合があり心配の声が出ている。改善してほしい。

**山村町長** 香芝警察・公安委員会の改良案が示され、大谷奥鳥井線と柳板大谷線の交差点については舗装修繕工事と合わせ来年度に実施する予定だが、広谷秋廻り線については幅員が狭く困難となっている。

### ◆その他の質問事項

- 介護保険から要支援1・2を外すことについて
- 横峰公園北側道路の事故について



山田美津代 議員

### 子ども子育て 支援新制度について

**問** 新制度は保護者の就労を基本に保育の必要性と必要量を認定し保護者に対して直接補助をするもの、多様な施設・事業に規制緩和も含めて多様な基準が認められることで子どもの保育に格差が生じ保育環境が悪化することが予想される。全ての子どもへの権利を保障する制度の観点から十分な論議と準備が必要。

**山村町長** ニーズ調査等により保育ニーズを的確に把握して子ども子育て会議及び議会と十分に協議し町として必要な保育所等の整備計画を策定する。

### 子ども医療費を 窓口払い無しの

**問** 子ども医療費が、中学卒業まで無料なのは町民が本当に喜んでいてさすが福祉の町広陵町として評価を頂いて居る所ですが、もう一歩進んでお給料日前でも安心して

子どもを病院に連れて行けるように国や県のペナルティを恐れず窓口払い無しに取り組んでいただきたい。全国では37都府県が実施されています。

**山村町長** 現物給付は過剰診療の増加や小児救急体制への過剰負担に繋がる。近隣の状況を見て今後の対応とする。窓口での支払いが困難な方には県内の医療機関で受診された方のみ「福祉医療費資金貸付」を無利子で利用する制度もあります。

### 公共交通のICカード

**問** 元気号は改善されて好評ですがバス停が高齢者の方のご利用で危険な個所があるので点検が必要。先日の議員懇談会で住民アンケートを取りデマンドも検討する。と言われましたが三郷町などの先進地を研究して是非デマンド交通実現を早めて。

**山村町長** 停留所は定期的な停留所施設の安全点検の実施、道路植栽の管理をおこなっている。デマンド導入は元気号との調整や既存路線である奈良交通やタクシー会社との協議など精査が必要。次年度に広陵町地域公共交通活性化協議会でデマンドも候補の一つとして検討する。